

④ 再整備の方向性

目指すべき姿を実現するための再整備の方向性を整理した。

1. 仙台ブランドの発信拠点

- ◇新本庁舎低層部等と連携した大規模イベント空間の形成
- ◇社の都のブランドに寄与する統一されたデザインの導入
- ◇社の都らしさの豊かな緑(保存樹林、河岸段丘)と文化の継承

2. 多彩な市民活動による交流と創造の場

- ◇新本庁舎低層部や周辺公園広場との連携と分担
- ◇多様な市民活動を展開できる広場の再配置・機能拡充
- ◇広場と周辺民間ビルとが調和した空間の形成

3. 都心のサードプレイス

- ◇親しみやすく開放感のあるデザインの導入
- ◇くつろぎや賑わいを創出する都心部の芝生広場形成
- ◇憩いの空間を創出する植栽・照明デザインの導入

4. みどりの回遊拠点

- ◇回遊性を高めるエントランス機能の確保
- ◇歩道と連続したみどりの空間の形成
- ◇滞留性を高める施設の導入

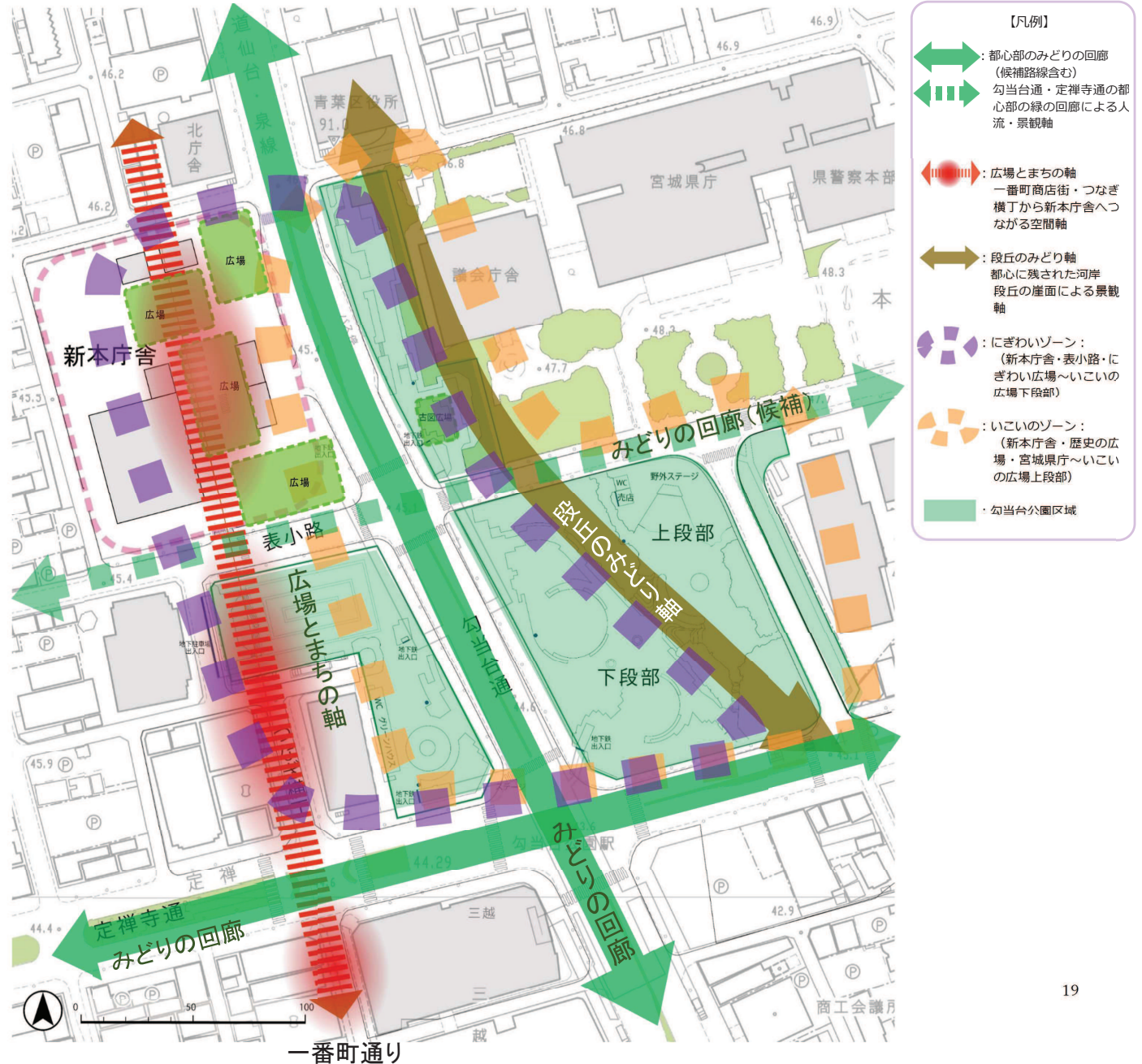
5. エリアマネジメントの展開

- ◇周辺施設と連携したエリアマネジメントの検討
- ◇P-PFIを活用した民間企業との連携
- ◇公園活動団体設立の検討

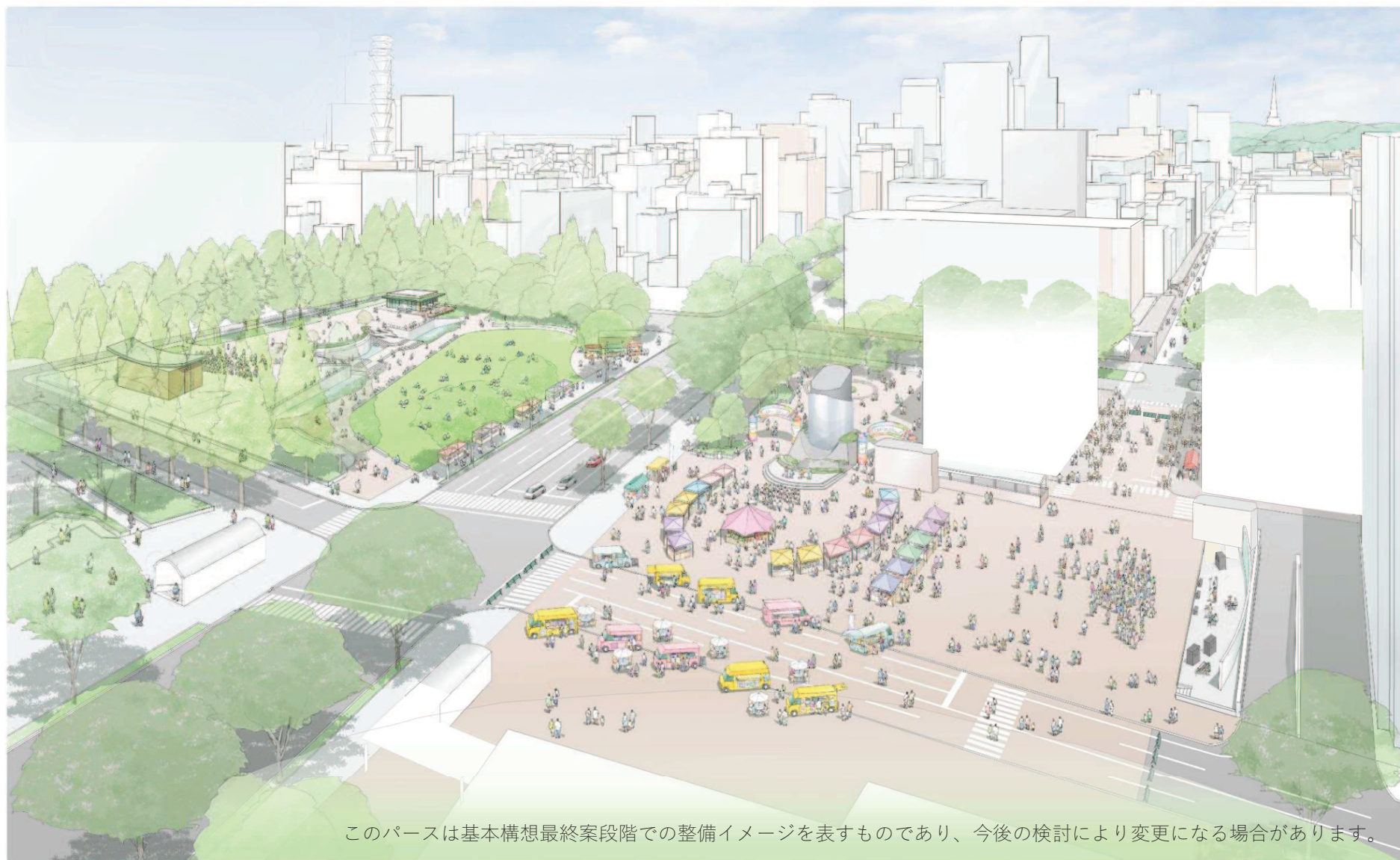
公園全体に共通する再整備の方向性

- (1)グリーンインフラのモデル公園
都心部での暑熱緩和や雨水浸透機能、生物多様性の保全等に寄与するモデル公園とする
- (2)ユニバーサルデザインの導入
年齢や国籍、障害の有無などにかかわらず、すべての人が集い、憩い、楽しむ公園とする。
- (3)都心の防災機能強化
都心部での避難場所や新本庁舎と連携した被災者支援の場とする。

勾当台公園再整備基本構想図



⑤ 再整備のイメージ
■全体鳥瞰パース



このパースは基本構想最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

⑤ 再整備のイメージ

■ 勾当台通より東側区域



このパースは基本構想最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

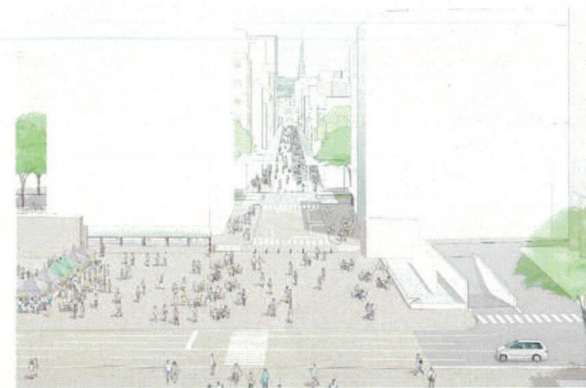
⑤ 再整備のイメージ

■新本庁舎低層部よりつなぎ横丁を望む

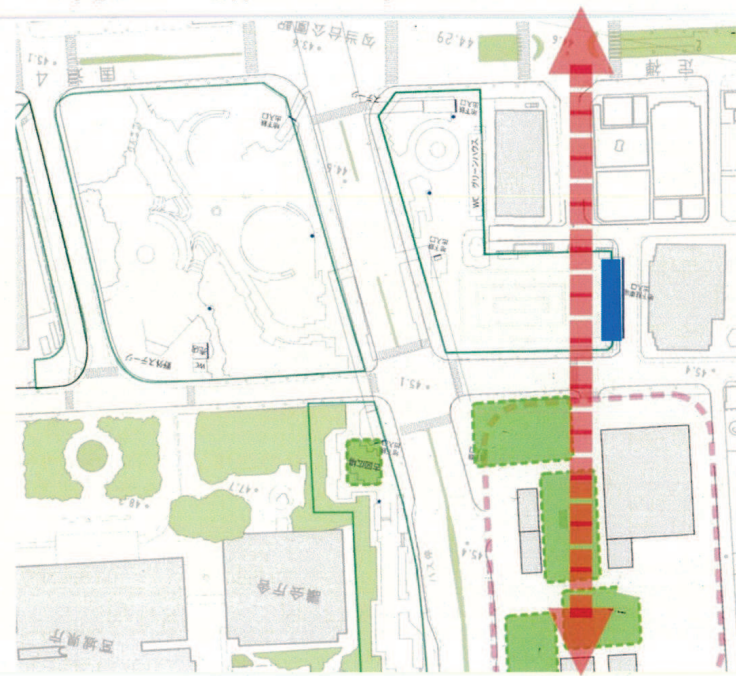
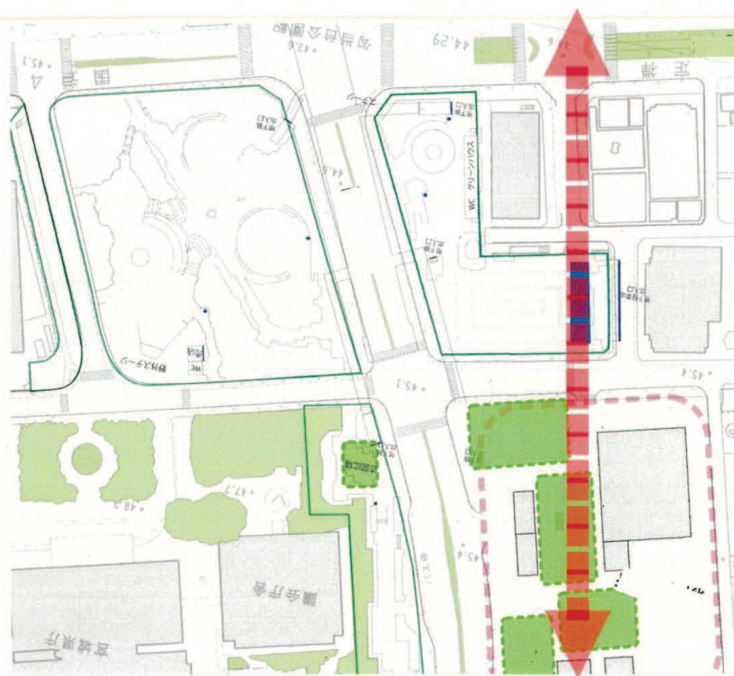
現況写真



再整備パース



このパースは基本構想最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。



⑥ 基本計画策定に向けて

勾当台公園は、勾当台・定禅寺通エリアの重点ゾーンの中央に位置し、新本庁舎低層部と市民広場の一体的な利活用への対応や、定禅寺通活性化事業等との連携が、ハード・ソフト両面で求められる。本構想で定めた公園再整備のコンセプト「Common Garden」の実現を軸に据えながら、市役所新本庁舎や市民広場、定禅寺通等が連続したシームレスな利活用空間の創出につながる施設の選定や配置、設えの検討、周辺施設等との一体的な管理運営が可能となる、官民連携を中心としたマネジメント手法等について引き続き勾当台公園再整備検討懇話会を開催しながら検討を進めることとする。

なお、現在進められている仙台市役所本庁舎低層部等公民連携検討会、定禅寺通活性化検討会などの検討内容との整合を十分に図りながら、計画策定を進めていく。

【勾当台公園再整備検討懇話会 委員名簿】

	氏名	所属・役職等
座長	もとえ まきしげ 本江 正茂	東北大学大学院工学研究科・工学部 准教授 東北大学災害科学国際研究所 准教授 宮城大学 事業構想学群 教授
座長代理	わたなべ かつら 渡部 桂	東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授
委員	いわま ゆき 岩間 友希	特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台ディレクター
委員	うぼうら みちお 姥浦 道生	東北大学大学院工学研究科 教授
委員	しょうじ まき 庄子 真岐	石巻専修大学経営学部 教授
委員	たかやま ひでき 高山 秀樹	仙台商工会議所 理事・事務局長
委員	ふくおか たかのり 福岡 孝則	東京農工大学地域環境科学部造園科学科 准教授

※敬称略・委員50音順